

# フィリピンでの英語教育（1） －セブ島での語学短期留学を通して－

## English Education in the Philippines (1) －Through the Study at a Language School in Cebu－

(2016年3月31日受理)

竹野純一郎 福田 衣里 梅原 嘉介 佐生 武彦 小野山和男 大橋 典晶  
Junichiro Takeno Eri Fukuda Yoshisuke Umehara Takehiko Saiki Kazuo Onoyama Noriaki Ohashi  
森年ポール クリスチャン・バロウズ 佐々木公之 藤代 昇丈  
Paul Moritoshi Christian Burrows Kimiyuki Sasaki Noritake Fujishiro

Key words : フィリピン, 短期留学, マンツーマン授業

### 概 要

本稿は、中国学園大学国際教養学部国際教養学科が開講する海外留学科目の一つである「オリエンテーション海外研修」留学プログラムについての報告である。初年度である平成27年度の短期留学プログラムは、フィリピン・セブ島にある語学学校での実施であった。プログラム内容の紹介に加えて、参加をした国際教養学部1年生を対象に実施したアンケート結果を考察することで、短期留学の成果と今後の課題を検討する。

### 1. はじめに

中国学園大学国際教養学部(以下「本学部」という。)は、平成26年10月に文部科学省から設置認可を受け、平成27年4月に、急速に進展するグローバル化や時代のニーズに対応する国際教養を備えた人材育成を担う教育・研究を行う高等教育機関として、その第一歩を踏み出した。本学部の設置目的は以下のとおりである。

グローバル社会で求められる基礎力である知識力、情操力、意思力、情報発信力、行動力の統合的資質・能力である「国際教養」を備え、高い英語と日本語の統合的コミュニケーション能力に基づいて、地域から世界に発信し、地域及び国際舞台上で活躍できる企業人・社会人を育成することを目的とする。

設置目的の趣旨である、「地域発のグローバル人材」の育成を目指し、本学部では、「英語コミュニケーション・フィールド」「国際ビジネス・フィールド」「国際文

化フィールド」の三つのフィールド科目群を備え、学際色豊かな158科目からフィールドを越え学生の興味関心に合わせて科目選択を可能にした。

158科目は大きく「教養教育科目」「専門教育科目」「教職に関する科目」の三つに分かれており、「専門教育科目」の中には「海外留学科目」として、「オリエンテーション海外研修」「留学準備セミナー」「セメスター留学」の3科目が準備されている。海外留学を実施する目的は大きく二つあり、一つ目は、学生に異なる文化の多様なものの見方や考え方に触れさせ、自文化を見つめ直す機会を与えること、二つ目は、日常的に英語でコミュニケーションを図ることで英語コミュニケーション能力の向上を図り、自己主張に必要とされるスキルやタフなマインドを身に付ける機会を与えることである。

これら二つの目的と効果を念頭に、本学部では2種類の留学プログラムを提供している。一つは、異文化理解や本学部での4年間の学修への動機づけという位置づけで、入学後約1か月の時点で実施する「オリエンテーション海外研修」であり、もう一つは、2年次後期に実施す

る「セメスター留学」である。本稿では、2015年度に「オリエンテーション海外研修」授業で実施した、フィリピン・セブ島での短期留学プログラムについて報告する。

## 2. 「オリエンテーション海外研修」短期留学プログラム

「オリエンテーション海外研修」は、入学後約1か月の頃に、東南アジア諸国へ約2週間の研修旅行を実施するプログラムのことである。期間中は、現地の大学または語学学校で提供されるESL (English as a Second Language) プログラムにて、他国の留学生と共に、約10日間（オリエンテーション含む）にわたって、英語によるコミュニケーションのスキルを学ぶ。英語研修以外では、社会貢献・文化交流活動を通して、異文化で生きる術を習得し、人間力の強化を図ることを目指している。2015年度の研修先はフィリピンのセブ島にある語学学校 SMEGA Global Education (以下「SMEAG」という。),

CAPITAL CAMPUSであった。

この短期海外研修は「オリエンテーション海外研修」の科目名で実施されており、現地語学学校での学習成果を60点、海外研修先での日誌（研修日誌）の内容を20点、帰国後のレポートやポスターの内容を20点として単位認定を行うものである。費用について、研修費、交通費、宿泊費の全額を大学側の負担としている。安全性の担保のために、事前に教員が現地視察を行い、実際の研修には複数の引率教員が同行し、安全性の確保に努めている。不測の事態が起きた場合の対応として、学科内に安全確保委員会を設置しており、引率教員は毎日研修の様子を委員会のメンバーに報告する。

今回のプログラムの参加者は、本学部1年生19名であり教員2名（竹野・福田）が同行した。入学後間もない海外での短期留学プログラムであるため、事前研修が必要不可欠であると考え、今回は委託旅行業者である井上直美留学研究所にご協力いただき5回の事前研修を実施した（表1）。

表1 短期留学プログラム事前研修

月日	時間	研修内容	配布物
第1回 4月8日(水)	13:10~14:10	旅行の目的・意義について フィリピン・セブ島について セブ島紹介ビデオ鑑賞	事前研修まとめシート セブ研修の手引き
第2回 4月13日(月)	16:30~17:30	SMEAG校の説明 学校ビデオ鑑賞 学校での過ごし方・諸注意	事前研修まとめシート SMEAGハンドブック
第3回 4月20日(月)	16:30~17:30	持ち物について 海外渡航に関する注意事項 ・受託手荷物の重量制限	事前研修まとめシート 持ち物チェックリスト
第4回 4月27日(月)	16:30~17:30	旅行英会話講座	事前研修まとめシート ひとくち英会話
第5回 5月7日(木)	14:50~15:50	事前研修のまとめ 直前オリエンテーション（最終確認） ・機内持ち込み荷物に入れるもの	保険証書 航空チケット

### 3. なぜフィリピン・セブなのか

フィリピン政府観光省が発行する『フィリピン英語留学案内』によると、フィリピン英語留学のメリットは以下のとおりである。

- ①公用語が英語である
- ②日本から近い
- ③費用が安い
- ④マンツーマンシステムだから中身が濃い
- ⑤安心して楽しめる留学生活

五つのメリットについて、簡単に説明を加えておきたい。①について、7,107の島々からなるフィリピンでは80以上の言語が話されており、首都マニラで話されているタガログ語を基礎とするフィリピン語が国語でありながら、政治、経済・ビジネス等の分野で英語が公用語として用いられる。フィリピン政府観光省のHPでは自国の紹介として、「学校教育やラジオ等の公共放送も英語が中心でその割合は80%に達する」「多くの米国企業が数千人規模のコールセンターをフィリピンに展開している」「アメリカ・イギリスに次いで世界で3番目に英語を話す人口が多い国」と英語が公用語であることをアピールしている。②については、関西国際空港からセブ・マクタン国際空港まで飛行機で約4時間半、時差は1時間であるので、英語留学先としては確かに近いと言える。③に関して、フィリピンでの留学は欧米留学と比較すると明らかに安く、物価も日本の約半分から3分の1程度であると考えられている。④については、フィリピンの語学学校のユニークな特徴であるが、人件費が安いこともあり多数の教員を配備することでマンツーマンでの授業提供が可能となっている。⑤に関しては、ほとんどの語学学校で日本人スタッフが駐在していることが理由の一つとして挙げられている。

『Learning English in the Philippines!』では、英語は特に若者にとって良い仕事に就くために必須で、英語教育はいまやフィリピン的一大産業であり、セブ市だけでも200以上の語学学校があると報道している。鳴澤（2015）によれば、フィリピンの英語学校は8～9割がセブ島に集中しているが、最近では首都マニラに留学する動きもあるようである。福屋（2015）によると、日本からの語学研修者の9割がセブを選んでいるという統計が

あり、その理由に、日本人はセブと聞けば美しいビーチの南国のイメージがあることを一因として挙げている。SEMAGのあるセブ市は、マクタン島にある高級リゾートホテルが有料で提供している美しいビーチから車で40分程度離れたところにあるが、まさにフィリピンでの語学留学の中心地にあると言えるであろう。

今回滞在したセブ市にある日韓共同資本のSMEAGに関して説明を加えておく。『SMEAG EDUCATION』（2014）によれば、SMEAGはSPARTA Campus（260人）、CLASSIC Campus（330人）、CAPITAL Campus（410人）の三つのキャンパスからなり、合計1,000人の学生を収容可能なフィリピン最大規模の語学学校である。年間平均して4,000人の学生が卒業し、CAMBRIDGE ESOL, IELTS, TOEIC, TOEFLなどの模擬テストを毎週受験可能である。IELTSでは98%の学生が目標得点に到達していると記されている。フィリピンにある300を超える語学学校の中でも国際色は特に豊かであり、国籍の内訳は、韓国45%、日本35%、中国・台湾10%、ベトナム7%、その他3%である。その他の国として、タイ、イラン、スペインやロシアなどの国が挙げられている。語学学校の教員は英文学や教育を大学で専攻しており、トレーニングを受けて、IELTS, TOEIC, TOEFL, CAMBRIDGE, BUSINESSなどの専門性の高い英語指導も可能になるようだ。マンツーマン授業を可能にするためには多数の教員が必要であるが、今回本学部の学生が滞在したCAPITAL Campusに教えに来ているだけでも百数十名の教員を確認できた。

### 4. 短期留学期間中の様子

初めての試みである短期留学プログラムは、平成27年5月10日から5月24日までの全日程15日間での実施となった（付録1）。SMEAGでは研修初日に、Speaking, Listening, Reading, Writingの4技能を測定するレベルチェックテストを受験した。本学部学生はESLコースを受講選択しており、レベルチェックテストの結果をもとに、大きく5段階（Beginner, Pre-Intermediate, Intermediate, Upper-Intermediate, Advanced）、それぞれの段階にLow, Medium, Highと細分化されている15段階のレベルで各自の実力にあったクラス、レベルにあった教材が選定され、授業スケジュールが組まれた。

1日の大まかな流れは表2のとおりである。

表2 ESLの時間割例

時間	授業など	内容
06:40-08:00	早朝スパルタ授業	TOEIC, Grammar, CNN
08:00-08:40	朝食	
08:40-09:25	マンツーマン授業	Listening, Speaking A
09:30-10:15	マンツーマン授業	Listening, Speaking B
10:15-10:25	休憩	
10:25-11:10	グループ(1:4)授業	Discussion A
11:15-12:00	グループ(1:4)授業	Discussion B
12:00-13:00	昼食	
13:00-13:45	集団授業	Pronunciation A
13:50-14:35	集団授業	Pronunciation B
14:35-14:45	休憩	
14:45-15:30	マンツーマン授業	Reading, Writing A
15:35-16:20	マンツーマン授業	Reading, Writing B
16:20-16:30	休憩	
16:30-17:15	集団授業	Speak Up A
17:20-18:05	集団授業	Speak Up B
18:05-19:00	夕食	
19:00-19:45	夜間スパルタ授業	NEWS, TOEIC, IELTS
19:50-20:35	夜間スパルタ授業	

表2は例であり、時間割は各学生向けにスケジュール管理されていた。特徴的なのは、マンツーマン授業が90分×2コマは毎日確保されており、少人数グループでのディスカッション形式の授業、加えてクラス形式での集団授業が開講され、早朝・夜間スパルタ授業を含めると、学生は1日10時間までレッスン受講が可能であった。加えて、学生たちには毎日英語で日誌を書くという課題が与えられていた。

早朝と夜間のスパルタ授業は強制しなかったものの、本学部学生は、概ね終日英語漬けの生活を送ることになった。SMEAGでは、食堂で朝・昼・夕食が用意され、ランドリーは無料、建物内にカフェやコンビニ、自習室やトレーニングジムも備えているため基本的には外出しなくても生活できるようになっていた。宿泊施設は同建物内の3, 4, 5階で3~4人の相部屋が割り当てられた。宿泊施設の男女のスペースは厳密に区分けされてい

た。

基本的には表2のような生活の繰り返しであったが、付録1の行程表で確認できるように、1週目土曜日のマングローブ植林と2週目水曜日午後の小学校訪問の2回を学外アクティビティとして企画、実施した。マングローブ植林は、休日であったが早朝5時半に集合し、車で40分ほどの海岸に移動、長靴に履き替え、植林をしている地元の方にマングローブの植え方を教えていただき実際に体験した。早朝とはいえフィリピンの日差しは強く、1時間程度すると潮が満ちてきたためあきらめて帰校をしたが、学生たちには貴重な体験になったようだ。小学校訪問に関しては、学生たちは、お手玉・けん玉・あやとり・折り紙・独楽のグループに分かれ、日本文化の紹介ができるように事前研修の段階から準備をしてきた。当日は、地元の小学生にそれぞれのグループでパフォーマンスを披露し、参加してくれた児童に実際に体験してもらった。日本から各自持参したプレゼントも贈呈し、児童だけでなく先生方からも大変感謝された。また、当初予定はしていなかったが、本学部学生から、せっかくセブに来たのだからビーチに行きたいとの声が多かったため、日曜日に引率者も含めた全員でリゾートビーチを訪れたことも記しておく。

全行程の詳細については、中国学園大学国際教養学部Facebookで写真とともに確認することができるが、その一部をここで紹介し、本プログラムが概ね成功裏に終了した報告としたい。

#### 【セブ島研修報告】By Eri Fukuda

セブ研修13日目。全ての授業が終わり、無事修了式を迎えました！今日は通常どおり授業を受け、夕食後、6時半から式が開始。まず、学生の挨拶から式が始まり、本学の代表2名がそれぞれステージへ。緊張した様子でしたが、先生方の温かい声援を受けながら、立派に英語とタガログ語で挨拶をしました。(中略)

続いて、先生1名と本学の学生5名によるダンスパフォーマンス。今日は授業の合間を縫って、空き教室やジムで練習をしていましたが、K-POPの曲に合わせて楽しそうにダンスを披露してくれました。学生のサービス精神と度胸に感心です。その後、一人ひとり修了証書を受け取り、研修を終えました。

活気に溢れたフィリピンらしい修了式でした。

加したい。(4.68)

## 5. アンケート結果と考察

短期留学プログラムを終えた約1週間後に「セブ島研修アンケート」を実施した。質問と学生の回答を紹介し、考察を加えていきたい。

### 「セブ島研修アンケート」

I 以下の項目に関して、「1 全く同意できない, 2 同意できない, 3 どちらとも言えない, 4 同意できる, 5 非常に同意できる」から最も当てはまるものを選んでください。

- A) 事前研修に満足した。(4.26)
- B) 今回の海外研修全体に満足した。(4.47)
- C) マンツーマン授業に満足した。(4.47)
- D) グループディスカッションの授業に満足した。(4.11)
- E) 集団の授業に満足した。(3.32)
- F) (学外アクティビティーについて) マングローブ植林に満足した。(3.32)
- G) (学外アクティビティーについて) 小学校訪問に満足した。(4.21)
- H) 今回の研修を通して, スピーキングスキルが向上した。(3.53)
- I) 今回の研修を通して, リスニングスキルが向上した。(3.84)
- J) 今回の研修を通して, リーディングスキルが向上した。(3.58)
- K) 今回の研修を通して, ライティングスキルが向上した。(3.42)
- L) 今回の研修を通して, 語彙力が向上した(単語の知識が増えた)。(4.00)
- M) 今回の研修を通して, 今までより英語を勉強したと思った。(4.37)
- N) 今回の研修を通して, 今までより外国の文化に興味を持った。(4.32)
- O) 今回の研修に参加した経験は, 将来の自分のためになると思う。(4.89)
- P) もし, このようなプログラムがあったら, また参

A) ~ P) の横の括弧内の数値は参加学生の回答の平均値であり, 全質問の平均は(4.05)であった。A) 事前研修の満足度(4.26), B) 研修全体の満足度は(4.47)と比較的高く, 授業形式はC)マンツーマン授業(4.47), D) 少人数グループ授業(4.11), E) クラス形式の集団授業(3.32)の順番で満足度が下がる結果となった。これは, 語学学習では, 教員に対する学生数がより少ないほうが学生の満足度が高くなる可能性を示唆している。海外アクティビティーについて, F) マングローブ植林(3.32), G) 小学校訪問(4.21)と満足度に差がついているが, このことについては一言付け加える必要があるように思われる。小学校訪問の満足度に対する評価は妥当であると思われるが, マングローブ植林に関しては, 起床が5時(日本の4時)前と早かったうえに, 日差しの強さが日本の真夏のようにも感じられ, 5月の日本から来た我々では環境差に対応しきれなかったことがアンケート結果に表れたと考えられる。

次に, 4技能や語彙力などの英語力に関する学生の回答であるが, H) スピーキングスキルの向上(3.53), I) リスニングスキルの向上(3.84), J) リーディングスキルの向上(3.58), K) ライティングスキルの向上(3.42), そしてL) 語彙力の向上(4.00)という結果であり, 必ずしも英語力が目覚ましく向上したとは感じていないようである。しかしながら, M) 今までより英語を勉強したい(4.37), N) 今までより外国の文化に興味を持った(4.32), P) このようなプログラムがあったらまた参加したい(4.68)という, 今後の意欲に関する質問項目は総じて高評価であった。中でも最も評価が高かった項目は, O) 今回の経験は将来の自分のためになる(4.89)であり, 参加した学生たちは今回の経験は有意義であったと感じていたようである。

なお, 本論ではアンケートの5段階スケールでの回答のみを紹介したが, 「II 自由記述」「III 後輩へ」「IV フリーコメント」に関しては, 付録2で学生たちの生の声として紹介している。

## 6. おわりに

本学部の海外短期留学プログラムは今回が初めての試みであったが、入学約1か月後に海外でオリエンテーション研修を行うことは非常に有意義であると感じられるものであった。今後の課題としては、4年間の学修への動機づけ、方向づけ（オリエンテーション）となる本プログラムをますます充実させていくとともに、帰国後、学生たちがどれだけ短期留学プログラムでの経験をその後の自己研鑽、自己実現に生かしていけるのか、また教員はどのようにその手助けができるのかが最重要課題であるように思われる。本学部の学生たちのますますの頑張りに期待したい。最後に、本プログラムに関わったすべての方に感謝の意を表します。

## 謝 辞

本研究は中国学園大学平成27年度特別研究費の助成を受けたものである。

## 引 用 文 献

- 文部科学省『学部等設置認可申請書類（平成26年10月）』  
中国学園大学国際教養学部  
[http://www.dsecchi.mext.go.jp/d\\_1410n2/chugoku\\_1410n2.html](http://www.dsecchi.mext.go.jp/d_1410n2/chugoku_1410n2.html), 2016年3月21日参照
- フィリピン政府観光省（2014）『フィリピン英語留学案内』
- フィリピン政府観光省『プレミアム・リゾート・アイランド フィリピン』  
<http://www.premium-philippines.com/>, 2016年3月21日参照
- NHK WORLD On Demand Asia Insight *Learning English in the Philippines!* Broadcast on June 19, 2015
- 鳴澤 大（2015）「フィリピン英語革命」『AERA』No. 9, pp. 10-15
- 福屋利信（2015）『グローバル・イングリッシュならフィリピンでーセブ・シティから世界をつかめ！ー』  
東京：近代文藝社
- SMEAG EDUCATION（2014）『SMEAG GLOBAL EDUCATION

PHILIPPINES TRAINING CENTER』

中国学園大学 国際教養学部 Facebook

<https://www.facebook.com/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E5%AD%A6%E5%9C%92%E5%A4%A7%E5%AD%A6-%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%95%99%E9%A4%8A%E5%AD%A6%E9%83%A8-694475763972301/>, 2016年3月21日参照

付録1：新入生オリエンテーション海外研修 行程表

## 新入生オリエンテーション海外研修 行程表(5/10～5/24)

月日	曜日	予定
5/10	日	JR岡山駅西口 バス乗り場7:30集合 / 7:55出発⇒関西国際空港 国際線ターミナル11:30到着 フィリピン航空 関西空港15:40出発⇒セブ島空港19:30到着 セブ島空港到着後、20:00頃 語学学校スタッフの送迎バスにて宿舎へ移動
5/11	月	午前:レベルチェックテスト 午後:オリエンテーション 夕方:ショッピングモールにて散策(両替・買い物)
5/12	火	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/13	水	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/14	木	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/15	金	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/16	土	午前:マングローブ植林 午後:自由時間
5/17	日	終日:自由時間 ※オプション・・・市内観光やビーチ散策・マリンスポーツなど(希望者のみ実費)
5/18	月	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/19	火	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/20	水	午前:英語レッスン(6:40～12:00) 午後:キャンパス内学食にて昼食後、小学校訪問 小学校にて日本の文化紹介(あやとり・お手玉・折り紙・けん玉・コマ 等)
5/21	木	終日:英語レッスン(6:40～20:35)
5/22	金	終日:英語レッスン(6:40～17:50) 夕方:修了式(18:15～19:00)
5/23	土	終日:自由時間 ※オプション・・・市内観光やビーチ散策・マリンスポーツなど(希望者のみ実費)
5/24	日	午前6:00集合 / 6:15頃 送迎バスにて宿舎よりセブ空港へ フィリピン航空 セブ空港09:15出発⇒関西空港14:40到着 関西国際空港 バス乗り場15:45集合/16:05出発⇒JR岡山駅西口19:40到着

※旅程の内容は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 付録2：セブ島研修アンケート

## II 自由記述

## A) 今回の研修でよかった点

- ・クラスメートと仲良くなれる。
- ・いろいろな国の人と話し合える。
- ・フィリピンのことについて、今までよりもよく知れた。
- ・自分の英語が間違ったときにちゃんと教えてくれて、会話のコツがだんだんわかってきたような気がした。
- ・自分のペースで勉強できた。
- ・マンツーマン授業，ディスカッションのときあまり英語ができなかったけど，先生が優しく，丁寧に教えてくれました。
- ・マンツーマン授業という1対1の授業があり，分からないところは分からない時に尋ねてすぐに間違いを理解し，集団の授業の時よりも次につなげやすかった点。
- ・英語を勉強しないといけないと思うようになった。
- ・マンツーマン！
- ・フィリピン人だけでなく韓国人とも仲よくなれた。
- ・フィリピンの文化について知れた。
- ・自分に自信が持てた。
- ・もっと英語力を上げたいと思った。
- ・英語力が上がった。
- ・外国人と話せる機会があまりないから，楽しく勉強できた。
- ・マンツーマンが良かった
- ・先生が優しい。
- ・自分の視界が広がった。
- ・フィリピンの先生はみんな優しくて，分からないとずっと教えてくれてよく分かった。
- ・マンツーマンやディスカッションはとてもやりがいを感じました。
- ・休日のマングローブの植林やBEリゾート，小学校訪問は貴重な時間でした。
- ・毎日1対1の授業があったところ。
- ・学校の中で，日本の人だけではなくて，韓国や台湾など様々な国の人も仲よくなれたこと。
- ・一日中英語を使って生活してよかった。
- ・英語力はもちろん，みんなのとの仲も深まった。

## B) 今回の研修でよくなかった点

- ・電子辞書を持って行ってなかったので不便だった。
- ・洗濯が返ってくるのが遅かった。
- ・食生活がかたよる。
- ・ディスカッションのレベルが合っていない気がした！
- ・携帯電話が外に出たとき使えなかった。
- ・教室のクーラーがきき過ぎていて風邪をひいた。
- ・米がおいしくなかったくらいです。
- ・危険すぎてこわかった（タクシーや車の運転が）
- ・小学校の訪問でもう少しグループで話し合いをすればよかった。
- ・自分の体調管理が甘かった

## C) SMEAGの感想

- ・校舎事体もとてもキレイで勉強しやすく英語のすばらしさや大切さを改めて教えて頂きました。そして日本人マネージャーの方にもたくさんお世話になったので本当に感謝でいっぱいです。
- ・日本人のマネージャーの方も居て安心して過ごせました。
- ・英語を使う環境が整っていたのが良かった。
- ・とても良い学校。
- ・授業の開始と終了の合図がベルだということに驚きました。
- ・とてもわかりやすく説明してくれた。

## D) 海外研修前と後の自分を比べると，変わったと感じる点がありますか。ある場合，どのような変化を感じますか。

- ・英語で話すことのためらいとかが少しなくなったと思う。
- ・自然な感じで会話ができるようになった。
- ・積極的になったと思う。
- ・もっと英語の勉強を頑張ろうと思った。
- ・英語の勉強をさらに頑張っていきたいという思いができました。
- ・英語への学習意欲の向上。
- ・みんなと仲よくなれた。
- ・発音がうまくなった気がする。
- ・英語をしゃべっている人が何を言っているかわかるよ



うになった。

- より海外留学したいと思えた。
- コミュニケーションをとることに積極的になれた。
- 留学をしたいと感じるようになった。
- 英語をもっと使うようになった。
- 世界への感覚がするどくなった。
- 研修前は外国人と話すのが嫌だったけど、研修後は話してみたいと思うようになった。
- 英語の必要性+重要性が今後を左右するというのを感じました。
- 人と話すことへの恐怖心が少しなくなってきました。
- 英語をもっと学びたいと思っているところ。
- 今までよりもっと英語の勉強をしたいと感じた。
- 将来の夢がふえた。

E) 英語以外でこの研修を通して学んだこと・気づいたことはありますか。

- フィリピンの普通と日本の普通の違い。(例えば、トイレ、お風呂、ショッピングモールでの荷物チェックなど)
- やはり日本が一番の国だと思った。
- 文化の違い。
- 外国人(フィリピン人、韓国人、台湾人など)はとても明るくてフレンドリーだと思った。
- 日本は恵まれている国だと感じる事ができました。離れてみて家族の大切さもたくさん考えさせられたのでより一層大切にしたいと思います。
- はずかしがりを直したい。
- 色々な人と会うことは大切だと学んだ。
- 日本と海外の違いをたくさん見つけた。
- 会話って大事。
- コミュニケーションの楽しさをより知れた。
- 世界は広いということ。
- フィリピンと日本の文化の違い。
- 日本は安全。
- 国によって常識としていることが違い、地球には本当にたくさんの人々が住んでいることを改めて感じました。
- 外国人ばかりなので、積極的に話さないといけないことがわかった。物をはっきり言う。

### III 後輩へ(複数回答のみ記載)

A) 持って行ってよかったと思ったものTOP 3

- (箱) ティッシュ (5) ・ (電子) 辞書 (4)
- (日本の) お菓子 (4) ・ カップラーメン (3)
- シャンプー (リンス) (3) ・ 虫よけ (3)
- 日焼け止め (3) ・ 耳かき (2) ・ かゆみ止め (2)
- 水筒 (タンブラー) (2) ・ 薬 (2)
- インスタントスープ (2) ・ 上着 (2)
- ドライヤー (2)

B) 持って行ったけどいらなかったものTOP 3

- バスタオル (3) ・ 洗剤 (2) ・ カップ (2) ・ 日傘 (2)
- ハンガー (2) ・ 長袖 (2)

C) 持って来ればよかったと後悔したものTOP 3

- 日本の食べ物 (4) ・ 爪切り (3) ・ 電子辞書 (3)
- トイレットペーパー (3) ・ (日本の) お菓子 (3)
- サングラス (2) ・ 薬 (2) ・ 制汗剤 (2) ・ はし (2)

D) 必要だと切実に感じた英語技能・知識 (スピーキングスキル, 品詞の知識, 語彙など)

- 語彙力 (17) ・ スピーキングスキル (11)
- リスニングスキル (6) ・ 発音 (2)

E) 海外研修へ参加する後輩へのアドバイス

- 単語はできるだけ多く知っておくことが大切だと思った。
- トイレットペーパーは多めに。
- この海外研修を自分を変えるターニングポイントにしてほしい。日常から英語をたくさん聞いて日本で英語を耳に慣らしておくべき。
- 最初は不安と驚きでいっぱいだと思うけど、慣れてくるととても楽しい。
- 個人差はあると思いますが初日や2日目は自分的に海外に対応するのが難しく日本が恋しくなりました。ですが、授業面ではためになることが多く、SMEAGですが体験できないこともあるので、ぜひ充実した2週間を過ごしてください。
- 食事が偏りがちなので。胃薬が必要だと思う。ドレッシングは本当に必要！！

- ・最初は帰りたいと思ってしまうかもしれないけど慣れれば毎日充実した生活が送れます！！
- ・現地調達より自分で持って行った方がいいと思う。
- ・ちゃんと勉強してからいかないとマンツーマンで全然しゃべれないのでお気をつけて。
- ・海外の人と接することができるいい機会です。
- ・ものすごく楽しい。食堂はおいしくない。
- ・備えあれば憂いなし。いらなと思う物でも役に立つことがあるから持っていくべき。
- ・お金は2週間で2万円あれば十分暮らせませす。授業はすべて英語ですが、先生も親切で辞書も使えるので、心配しなくても楽しく授業も受けれます。エアコンは電気の使い過ぎに注意してください。フィリピンはすごくいいところでした。
- ・先生はとても優しいので、不安はいりません。授業も毎日あるけどそんなに苦ではありません。
- ・2週間はあっという間だったので、もっと楽しく海外研修に参加してください。自分ももっと先生たちや友達になった人ともっといろいろ話せばよかったと思っています。自分から積極的に話す、相手は聞いてくれるから。単語をもっと知っておけば有利。あまり辞典を使わない方が、より単語を覚えられると思う（頼りすぎない）。
- ・大変だけど楽しいよ。体調管理に気をつけて。
- ・とても勉強になった。
- ・Discussionも楽しかったけど、one-to-oneもすごく楽しかった。特にone-to-oneでは、先生がよくサブティーチャーになったので、いろんな先生の授業を受けることが出来たことが、とてもいい経験でした。
- ・今回本当に行って良かったです。とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

#### IV フリーコメント

- ・大学に入学して2週間、海外に行くことは良いことだと思った。
- ・単語を多く覚えてないといけないと改めて感じた。すごく楽しかった。また留学に行きたい。
- ・最初はとても不安で帰りたいと思っていたけど、だんだん慣れてきて、もう少し居たいと思いました。英語が苦手な私でも先生たちは親切に教えてくれました。SMEAGでできた友達とお別れするのがさみしかったです。
- ・この経験を糧に日々勉学に励んでいきたいと思います。
- ・とても刺激になるいい経験になった。もう少し長くてもいいなと思う。今後に生かせるようにしたい。
- ・湿気がすごかった。